

焼津市地域公共交通網形成計画（案）に対するパブリックコメントについて

○募集期間：平成30年2月15日（木）～3月7日（水）

○意見件数：7件（2人）

○頂いた意見の内容（要旨）とこれに対する市の考え方

No.	意見の内容（要旨）	市の考え方
1	幹線軸の強化について、藤枝相良線や藤枝吉永線との接続を考慮し、まずは宗高新町までの延伸を検討してはどうか。	幹線軸の強化については、大井川庁舎と焼津駅間の連携強化を第一と考えます。藤枝相良線や藤枝吉永線との接続については、幹線軸上の宗高新町で接続を予定しています。
2	現在、大井川焼津藤枝スマートICにおけるバス路線との接続が悪く利用しにくい状況にあるため、幹線軸の強化については、スマートIC近くの清流館高校へのアクセス向上という面もあることから、スマートICに接続するルートにしてはどうか。	幹線軸の強化については、焼津駅と大井川地区を直線的に結ぶ路線とし、目的地までの速達性が重要であると考えています。スマートICへの移動については、機能的な支線の運行の中で対応を検討したいと考えます。
3	藤枝吉永線の大井川庁舎への乗入れは遠回りになり時間的にもロスがある。富士見橋や宗高新町など既存のバス停に上屋などを整備して結節点とする、あるいはつつじ平団地での藤枝市自主運行バスとの連携強化も有用ではないか。	大井川庁舎については、大井川地区の中心部であり市の交通結節点として位置づけをしております。藤枝吉永線の乗入れについては、朝の通勤・通学の時間帯には大井川庁舎を始発とする系統を設けるなどの対応を検討していきたいと考えます。つつじ平団地における連携強化については、市全体のバランスと費用対効果等を踏まえた上で、関係者と協議・検討をしていきたいと考えます。
4	利用の少ない大井川西部循環線の現状は行政主導による再編の結果であり、改善策としてこれまでの減便中心の対応ではなく、藤枝吉永線や藤枝市自主運行バスとの連携強化や増便など利便性を高める対応が必要ではないか。	大井川西部循環線は、市民や利用者の皆様のご意見を基に時刻や経路を設定し運行を開始しましたが、現在は定時定路線での運行の継続が困難な状況にあります。今後は地域の皆様と連携し、地域ニーズや利用状況に的確に対応した交通手段について、地域の皆様と協議をしたいと考えます。

5	利用が地域住民に限定される デマンド型乗合タクシーよりも、観光客など市外の人でも利用できるバスの方が地域の活性化にもつながり有用ではないか。	デマンド型乗合タクシーについては、公共交通空白地域や利用需要が少なくバス運行の継続が困難な地域における見直し・改善策の一つの交通手段として考えております。地域にとって最良の交通手段について、地域の皆様と連携して検討していきたいと考えます。
6	大井川西部循環線のデマンド型乗合タクシーへの転換について、実施スケジュールでは2021年度からとなっているが、早期の実施を検討してほしい。	大井川西部循環線の見直しについては、デマンド型乗合タクシーへの転換も抜本的な対応策の一つとして考えており、地域の皆様や運行事業者と調整し、できる限り早期に実施をしたいと考えます。
7	駿河西病院にサイクルアンドライドやパークアンドライドの依頼をしてはどうか。	サイクルアンドライドやパークアンドライドについては、利用の多いバス停付近で、駐輪・駐車スペースがある企業や医院に対し協力をお願いしたいと考えます。